

S.F.A.通信 第16号

(和歌山県漁業士連絡協議会報)

平成23年10月

発行：和歌山県漁業士連絡協議会

S.F.A. (=Senior Fishery Adviser、漁業士)

◆漁業士

将来の中核的漁業者として期待される漁業者や、優れた漁業経営を行い指導的役割を果たしている漁業者をそれぞれ「青年漁業士」、「指導漁業士」として和歌山県知事が認定しています。

現在は117名の漁業士が地域漁業の担い手として活躍しています。

和歌山県漁業士連絡協議会

会員相互の連絡調整や交流資質向上を目的に、平成元年に発足しました。

年1回の総会の他、他府県との交流会の開催、魚食普及活動、部会での活動などを通じて、お互いの情報交換や親睦を図っています。

～漁業士認定～

平成23年2月4日(金)に、アバローム紀の国において、「農業士・グリーンワーカー・漁業士認定式」が行われ、以下の9名の方が漁業士に認定されました。

青年漁業士

横田 邦雄さん(和歌浦漁協)
山本 達也さん(有田箕島漁協)
芝田 育広さん(紀州日高漁協)
植野 智之さん(和歌山南漁協)
田ノ岡 誉将さん(和歌山南漁協)
小山 貴久さん(和歌山南漁協)

指導漁業士

川端 久代さん(紀州日高漁協)
土佐 愛子さん(比井崎漁協)
山下 利彦さん(三尾漁協)



知事、県議会議長と共に記念撮影

～知事感謝状～

平成22年度から、「農業士・グリーンワーカー・漁業士」認定式において指導漁業士の失効年齢（65歳）に達した方に対し、和歌山県知事から感謝状が贈呈されるようになり、以下の2名の方が贈呈されました。

指導漁業士

東 里子さん（紀州日高漁協）

北郡 千満子さん（勝浦漁協）



知事、県議会議長と共に記念撮影

～通常総会～

平成23年7月9日（土）和歌山市の和歌山ビッグ愛において、平成23年度通常総会及び親睦会を開催し、県下各地域から漁業士33名の出席がありました。本年度は役員改選の年となっており、新執行部が選出されました。

任期：平成23年7月～平成25年7月

会 長	塩谷 昇	（紀州日高漁協）
副会長	山本 広己	（有田箕島漁協）
副会長	松村 よう子	（紀州日高漁協）
監 事	榎本 睦也	（和歌山南漁協）
会 計	松村 英昭	（比井崎漁協）
理 事	山崎 晃	（和歌山東漁協）
理 事	高井 宏	（和歌浦漁協）
理 事	懸橋 裕子	（和歌山東漁協）



総会では、平成23年度予算編成について執行部及び事務局から、従来の編成方法からの改正点が説明された後、承認されました。

【部会予算編成方法の改正点】

- ・ 部会活動費を部会会議費と部会視察費に分割
- ・ 部会会議費は予算額10万円を上限として所属人数により算出
- ・ 部会視察費は予算額30万円を上限として経費の1/2または1万円/人のどちらか低い額を補助
- ・ 部会会議費及び部会視察費は繰り越さない

～兵庫・徳島・和歌山3県漁業士交流会～

毎年開催されている3県交流会は、平成23年10月3日～4日にかけて、徳島県で開催されました。初日は神山温泉四季の里において、3県の漁業士がそれぞれ活動状況を報告し、震災の影響や海洋環境等について意見交換を行いました。

また、2日目は神山町農村環境改善センターにおいて、地元の2小学校の5年生33名を対象に、魚食普及教室を開催しました。まず各県漁業士から、日頃行っている漁業について説明を行い、その後、調理実習として実際に魚を捌いて、イボダイのホイル蒸しやタチウオのフリッターなどを作りました。子供達は、包丁の使い方に苦労しながら、タチウオの3枚おろしにも挑戦し、できあがった料理は昼食としておいしくいただきました。



お問い合わせ先

県庁水産振興課	073-441-3000	井手副主査
海草振興局企画産業課	073-441-3372	井川普及指導員
有田振興局企画産業課	0737-64-1286	南普及指導員
日高振興局企画産業課	0738-24-2946	田中普及指導員
西牟婁振興局企画産業課	0739-26-7910	伊勢田普及指導員
東牟婁振興局企画産業課	0735-21-9604	横濱普及指導員